

# 雛松

第38号



平成19年3月20日

## 雛松会

大阪教育大学  
附属天王寺小学校  
〒545-0053  
大阪市阿倍野区松崎町  
1丁目2-45  
TEL. 06(6621)0123

### <主な記事>

◆名譽会長・会長挨拶………	1面
◆附小NOW・転出の先生方………	2面
◆お元気ですか………	6面
◆恩師の先生方からのメッセージ………	4面
◆附小百三十周年記念事業………	3面
◆同窓生の活躍………	7面
◆年会費納入者一覧………	8面



## とは 生命を尊重する

大阪教育大学  
附属天王寺小学校校長  
雛松会名誉会長

藤永 芳純

「生命を尊重する」とは  
明白なことだと思いま  
すが、昨今の世相からする  
と必ずしもさうとばかりも  
言い切れないのかどう?  
動物的生物はすべての  
基本的意味ですから、「傷  
害・屠場」という意味の  
には専念されるはずの新学  
習指導要領でも、「生命尊重  
はならない」という段落が  
あらゆる文化世界に存在す  
ます。私たちが生命について  
の、それぞの社会の生

では、つまり、「生命尊  
重」とはどうなうことな  
のでしょうか。もちろん、  
心臓が停止すれば失われる  
命は受け止められ  
ない。一方で、「傷害・屠場」とい  
う言葉が、ものづくじの伝  
承では、技術のもの伝

て、「かけがえがない」と  
いう言いで、その大切さ  
を強調します。  
また、生命は自分が所属  
する集団における位置・役  
割ははじく社会的生命です。  
したがって、「屠場か  
ないのかかもしれない」  
が、世界の状況からすれば、  
ほとんどの人は受け止められ  
ないかもしれません。  
つまり、「社会的生命」とは政  
治家の、教師生命とは教師  
の命とは別の命です。

さうした社会的命や動  
物的生命を犠牲にして、  
生き生きと充実していき  
たいとする命があること  
にかかわると思います。  
最後に、「宗教的生命」  
があります。日本ではそれ  
が、もともと重要な意味だ  
と言じたじょ。

とりわけ、英語の「生  
命」にあたり言葉は「ライ  
み」はどうでしょうか。  
私たちの生き方を見直して  
いかなければなりません。

## 附小ホームページ

母校の最新情報満載

<http://tensho.cc.osaka-kyoiku.ac.jp/>

## 復活・第31回 雛松会 総会

★平成11年までに卒業の方

日 時 平成19年4月14日(土)

PM3:30~5:30(PM3:00~受付)

場 所 ザ・リツ・カールトン大阪

4階ザ・リツ・カールトン ポールルーム

〒530-0001 大阪市北区梅田2-5-25  
阪神「梅田駅」西出口より 歩行5分  
地下鉄四つ橋線「西梅田駅」北改札口より 歩行5分  
JR「大阪駅」桜橋出口より 歩行7分  
JR東西線「北新地駅」西改札口より 歩行7分  
TEL 06-6343-7000

## ジ ュ ニ ア 会

★平成12年から平成19年に卒業の方

日 時 平成19年3月26日(月)

AM10:00~12:00

場 所 母校(附属天王寺小学校)

内 容 ◎議事

◎アトラクション

◎年次毎の同窓会

恩師や友人とのなつかしいお話、  
運動場でのスポーツ、  
楽しいお店も開きます。

近年、さまざまな業界にお  
いて、企業の社会的信用を根  
底から壊すような品質問題が  
発生しています。単なる企  
業の問題を超えて、社会全体の  
課題となりつつあります。そ  
の主たる要因として、七百万  
人(八百万人ともいわれる)團  
塊の世代の大半走年退職、い  
わゆる「二〇〇七年問題」が  
日本全体のものづくりの大き  
な転換期として、技術の伝承  
をいかに行うかが重要な課題  
となっています。

この問題によって、企業の  
社会的信頼度が大きく下落す  
るリスクが高まっています。  
そのため、企業は、技術の伝承  
を確実に行なうため、技術の伝承  
と何を伝承すべきかで、あ  
ります。「産業レベルの伝承」  
と「ものづくりの伝承」では  
レベルが異なると思います。  
「産業レベルの伝承」では、  
はないでしょうか。品質を確  
保するためには、何を伝えてい  
きたいのかがわかるようなシス  
テムです。確かに、企業の製造  
責任等の問題がクローズア  
ップされることが多いため、  
必要なシステムではあります  
して必要とされていますが、  
ものづくりの現場から改善が



## 技術の伝承 人から人へ伝えるべきもの

雛松会会長  
昭和31年卒

錢高 一善

ある次世代へ「品質確保のた  
めに何を伝承すべきか」であ  
ります。「産業レベルの伝承」  
と「ものづくりの伝承」では  
レベルが異なると思います。  
「ものづくりの伝承」では、  
はないとします。

近年、さまざまな業界にお  
いて、企業の社会的信用を根  
底から壊すような品質問題が  
発生しています。単なる企  
業の問題を超えて、社会全体の  
課題となりつつあります。そ  
の主たる要因として、七百万  
人(八百万人ともいわれる)團  
塊の世代の大半走年退職、い  
わゆる「二〇〇七年問題」が  
日本全体のものづくりの大き  
な転換期として、技術の伝承  
をいかに行うかが重要な課題  
となっています。

この問題によって、企業の  
社会的信頼度が高まっています。  
そのため、企業は、技術の伝承  
を確実に行なうため、技術の伝承  
と何を伝承すべきかで、あ  
ります。「産業レベルの伝承」  
と「ものづくりの伝承」では  
レベルが異なると思います。  
「産業レベルの伝承」では、  
はないでしょうか。品質を確  
保するためには、何を伝えてい  
きたいのかがわかるようなシス  
テムです。確かに、企業の製造  
責任等の問題がクローズア  
ップされることが多いため、  
必要なシステムではあります  
して必要とされていますが、  
ものづくりの現場から改善が

ある次世代へ「品質確保のた  
めに何を伝承すべきか」であ  
ります。「産業レベルの伝承」  
と「ものづくりの伝承」では  
レベルが異なると思います。  
「ものづくりの伝承」では、  
はないとします。

近年、さまざまな業界にお  
いて、企業の社会的信用を根  
底から壊すような品質問題が  
発生しています。単なる企  
業の問題を超えて、社会全体の  
課題となりつつあります。そ  
の主たる要因として、七百万  
人(八百万人ともいわれる)團  
塊の世代の大半走年退職、い  
わゆる「二〇〇七年問題」が  
日本全体のものづくりの大き  
な転換期として、技術の伝承  
をいかに行うかが重要な課題  
となっています。

この問題によって、企業の  
社会的信頼度が高まっています。  
そのため、企業は、技術の伝承  
を確実に行なうため、技術の伝承  
と何を伝承すべきかで、あ  
ります。「産業レベルの伝承」  
と「ものづくりの伝承」では  
レベルが異なると思います。  
「ものづくりの伝承」では、  
はないとします。



岩崎真季先生  
(園画工作)

(平成13年4月)  
平成18年3月

附属天王寺小学校を転出し、早いもので一年が過ぎようとしています。担任中は多くの保護者の方々、子ども達に支えていたときながら、園画工作の研究をするつてまいりました。私が对于して、母校で教鞭をとるということは非常に貴重な体験でした。附箇で過ごした子どもの頃の感じや保護者の方々の熱心さは、時を経ても変わることはあります。むしろ、ついで、多くの子ども達と接することができたのも今となっては貴重な体験です。現在は、大阪市立住之江小学校で四年生の担任をしております。附小で学んだことを生かしながら、さらにはパワフルに教育活動及び研究活動に取り組んでまいりたいと思います。本当にありがとうございました。雄松会のますますの発展をお祈り申します。

## 転出された先生方

多賀井直子先生

〈理科・生活〉  
(平成13年4月)  
平成18年3月



この度、五年間お世話を

なった附小を離れ、堺市立

西脇小学校へ転出

いたしました。

現在勤務しております浜

寺昭和小学校は浜公園周

辺にあり、色々な行事で

浜寺公園を訪れる度に、附

小から通班選定で訪ねたこ

とを機会に思い出しております。初夏と秋の浜寺公

園には美しく音楽が咲き誇

っています。機会がありま

したら是非遊びにいら

しゃください。

卒業生の皆様と軽べれば

一年少ない年数での卒業

となりましたか、それ

の間に学ばせていただい

## 附小NOW・近況報告

清水 大

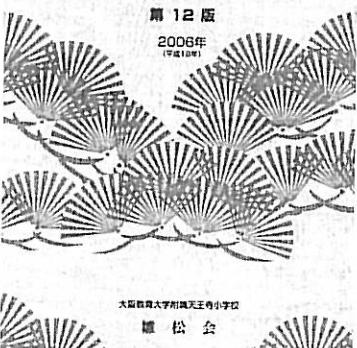


## ぜひこの機会にお申し込み下さい

### 雛松会会員名簿

第12版

2006年



### 雛松会会員名簿

## 第12版完成

## 入退出通知サービスが始まります!



来年度4月より、本校では、入退出通知サービスを始めます。児童1人1人が専用カードを持ち、登校時と下校時に、吹き抜けに設置された機械にそのカードをかざします。すると、保護者の携帯電話に「〇時×分。学校に着きました」「〇時×分。学校を出ました」というメールが自動的に送られるのです。先月2月から5年生だけが、試行期間として、先行してやり始めましたが、「あっ、うっかりやり忘れたっ！」と教室で叫んでいる子もいます。習慣化するには、もう少し時間がかかるかもしれません。子どもも保護者も安全と秩序が感じられる校風でありつづけてほしいものです。

また、パソコン室に新しいパソコンが20台入りました。以前よりも使いやすくなったパソコンで、児童はいきいきと調べ学習やレポート作りに励んでいます。プロジェクターなども備え付けられ、機器の使い方を説明するのも随分便利になりました。児童が表現の幅を広げ、自分の個性や可能性の芽をどんどん育んでほしいと願っています。

## ホリニューアルどんどん進行



この度、会員名簿第12版が発刊されました。六年ぶりとなる今回の名簿は、各学年毎に学年の方に同様の名簿のチェック・調査をして頂きました。完全とまではいきませんが、できる限りのデータ修正を行つております。昨年の会員発行の後、多数のお申込みを受けましたが、その方々には昨年末に発送させていたしました。お申込みがございましたが、まだお申込みでない方は、ぜひこの機会にお申込み下さい。お預り申し上げます。

申込料金は、名簿発行にあたり、店舗掲載にご協賛

賜りました名簿・名位に対しまして、厚く御

礼申し上げます。(お申込みは同封の振替

用紙を)利用ください。定価300円・送

料無料)



# 思い出を共有 1万人の卒業生

副校長 服部 敬一

本校は今年で創立百三十周年を迎えます。大阪教育大学には現在十の附属校園がありますが、その中で飛び抜けて早くに創立されたのが本校です。卒業者台帳を見ますと、この百三十周年間に本校を卒業した人の数は一万にもなります。そのおひとりおひとりが、それぞれに本校への思い出をもつておられるわけですから、学校というものは大変な重みがあるわけであります。私が今までに担任した子ども達や、総割り清掃や通学班、クラブなどで出会った子ども達も遅く過ごしたことや、何気ない一言が今まで鮮明に残っているのですから、卒業生



す。  
是非お立ち  
寄りください

## 創立130周年 記念イベント



2007年 11月1日(木)八尾プリズムホール

■午後6:30開演(午後6:00開場)  
■全席指定(税込) S席(1F) 5,000円  
A席(2F) 4,000円  
B席(3F) 3,000円  
E席・A席はアイコロジー  
TEL.075-801-4561  
TEL.075-821-5105

(お問い合わせへすぐ TEL.072-024-0111)  
7月28日㈯ 午前10時より発売開始

・プリズムホールチケットカウンター  
...072-024-0900  
・アイプロデュースチケットセンター  
...075-801-4561  
・ローソンチケット(1.6km)  
...072-024-0005  
...072-024-7800  
...072-02-0906

清栄のことと存じ上げます。  
さてこの度、附属天王寺小学校創立百三十周年記念イベントといたしまして、一代目引田天功を招き、八尾市民会館プリズムホールにおいて「プリンセス天功・附天

部の部は現役児童とその保護者が参加しますが、夜の部は雄松会員のみなさまに参加して頂く事が可能となりました。料金は雄松会員特別価格の￥4500になります。

ご多忙かとは存じ上げますが、みなさまのご理解ならびにご協力、なにとぞよろしくお願い申し上げます。

## プリンセス天功・附天小 130周年イリュージョン

日 時 平成19年11月1日(木)午後6:30開演(午後6:00開場)

場 所 八尾市民会館プリズムホール  
(近鉄八尾駅徒歩5分 西武百貨店東へすぐ)

### チケットのお申し込み方法

- ・アイプロデュースにて購ります。(3月20日より)
- ・アイプロデュースチケットセンターに直接電話をお願い致します。
- ・お電話を頂きますと、お席の確認を取り予約確認と振込依頼の用紙が送付されます。
- ・入金振込み確認後チケットをお送りするシステムになっています。
- ・チケット代金はS席通常￥5000のところ、雄松会員特別価格の￥4500になります。
- ・お電話の際、雄松会員である事を必ずオペレーターにお伝えください。
- ・会館または他のプレイガイドにお申し込みの際は雄松会員特典はありませんので、くれぐれも宜しくお願いいたします。

### お申し込み先

株式会社アイプロデュースチケットセンター  
本社/〒600-8499 京都市下京区四条堀川西入ノアハイツ902号  
TEL.075-801-4561 (代) / FAX.075-821-5105



母校創立 130  
周年

記念品について

今年11月1日、附属天王寺小学校は創立130周年を迎えます。雄松会では創立記念として学校と相談の上、在校生に記念の品を贈る予定にしております。幹事会でご承認頂いた後、寄贈致したいと思いますのでご了解の程よろしくお願いいたします。

尚、費用は本会計より支出し、来年度の会報で内容をご報告させて頂きます。

皆様の会費が母校の発展にもつながりますので、会費の納入に関しましては何卒よろしくお願い申し上げます。

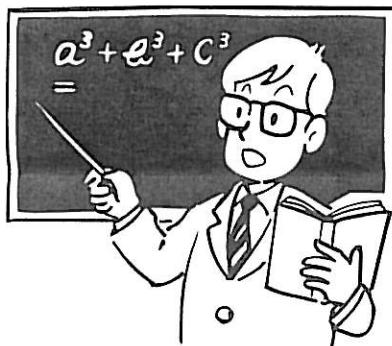
訃報 位野木 寿一先生

(社会) 昭和16年8月—昭和20年8月

平成18年7月15日逝去

慎んでお悔やみ申し上げますとともに  
心よりご冥福をお祈りいたします。

# 恩師の先生方から



- 西本 錠美 先生（昭和10年4月～昭和29年2月）  
九十五才となりました。しかし酒井で車椅子の生活をしています。出席できません。仙のよい椎松会を開いて下さい。
- 白木 實 先生（昭和16年4月～昭和18年3月）  
(昭和26年4月～昭和39年3月)  
腰痛で困っています。当日々暖かい天気ありますよう頑張っています。
- 山中 升 先生（昭和17年4月～昭和18年3月）  
(昭和21年4月～昭和37年3月)  
体調を崩し、二月二十五日入院致しました。皆様によろしくお伝え下さいませ。（内）
- 成田 重明 先生（昭和17年10月～昭和22年3月）  
九十才になりましたが元気にしています。年一回担任のクラス会を開催しております。充実した楽しい会で出席者もかなり多いです。
- 佐野 敏夫 先生（昭和18年7月～昭和22年3月）  
子供時代からの案内を頂きましたが、お世話になりました。小生は昨年の六月十八日に卒寿を迎えました。まだ元気ですが、多少足が不自由のような状態になり恐縮。一方足歩行が制約され退出はむづかしくなりました。
- 小坂 武清 先生（昭和23年3月～昭和27年3月）  
昨年三月より高槻市芝谷町にあります「サン・ディ高摶」にお世話をになっております。（代理人 小坂 健子）井出 實 先生（昭和24年11月～昭和34年8月）  
などとか元気にしています。ご盛会を祝ります。
- 酒井 康晴 先生（昭和27年5月～昭和33年4月）  
毎日元気にして過ごして居ります。ピアノをひいたり教えたり楽しいです。（盛美をお祈りいたします）
- 滝 優子 先生（昭和27年5月～昭和59年3月）  
何時もお知らせいただき有難うございます。先生方、皆様のご健康と児童のみなさんの安全をおいのり申しあげております。私は近郊歩きのためのしみをしておりまます。
- 西元 保 先生（昭和28年1月～昭和35年4月）  
現在外出には車いすが必要になりましたが、食事はおいしく過ごしております。
- 田中 健司 先生（昭和41年4月～昭和63年3月）  
健康管理にこだわら体力維持増強のストレッ

- 黒室 重美 先生（昭和29年4月～昭和47年3月）  
第一船橋庄泊骨折て神経が痛め歩くこと不能へッドホンで音楽を聴き、マイコロビ遊び、ビデオ（二年、テレビを見、テレビを見、忙しく暮しています。その他は健康、育休）。
- 久島 熊男 先生（昭和29年4月～昭和45年3月）  
附小を離れてからの歳月も既に茫々近くでは、懇親に「成々年々人同様カラズ」の想いを強くしておられます。厳しい時勢、皆さんのご活躍を心からお祈りいたします。
- 灰山 碩子 先生（昭和33年9月～昭和39年3月）  
御案内おれしおぎました。年々歩行困難で外出が思うよくなりません。お許し下さい。台の端々での発展を心からお祈りいたしております。
- 前田 三勇 先生（昭和36年10月～昭和41年3月）  
元気にしております。毎回ご案内いたしまして有難うござります。皆様によろしくお見え下さい。
- 上東 章 先生（昭和39年4月～昭和53年3月）  
至極元気に毎日を乗じています。
- 原 畏一郎 先生（昭和39年11月～昭和46年3月）  
絵画（取材旅行も含め）、読書、庭にたり、時に酒場～スナック（カラオケ）と不良老人の生活を樂んでいます。個展三回（毎年二回まで八回）やっていますが、その前後に人腕を断する事が多く（腹膜炎、肝臓結石、大腸ガン、胆石症、前立腺ガン）運が悪いのです。今年は膝の治療で、自内障の手術をする予定。八十歳、もう歳です。
- 濱口 駿彦 先生（昭和41年4月～昭和55年3月）  
今は元気によらしています。地域のためにボランティアをして過ごしています。
- 山下 良一 先生（昭和46年4月～昭和57年3月）  
河合 忠勝 先生（昭和46年4月～昭和57年3月）  
海外子女教育振興財團相談員として在外・帰国の方との教育の相談にあたっています。六十六歳になります。
- 川村 一郎 先生（昭和47年4月～昭和57年3月）  
なんとか元気に過ごしております。
- 漕江 隆郎 先生（昭和45年4月～昭和61年3月）  
少し体調を崩しておりますので四月のことは判断でありますが、その前後に人腕を断する事が多く（腹膜炎、左足の神経一ヶ所の治療を受けました。）、
- 川村 一郎 先生（昭和45年4月～昭和57年3月）  
残念ながら席します。喜んで通え、体のあらゆることに障害を生じ、現在も週三回人工透析をしています。その他心臓の冠動脈一ヶ所、左足の神経一ヶ所の治療を受けました。
- 川村 一郎 先生（昭和45年4月～昭和57年3月）  
諸兄によろしくお伝え下さい。
- 川村 一郎 先生（昭和45年4月～昭和57年3月）  
なんとか元気に過ごしております。
- 漕江 隆郎 先生（昭和45年4月～昭和61年3月）  
少し体調を崩しておりますので四月のことは判断でありますが、その前後に人腕を断する事が多く（腹膜炎、左足の神経一ヶ所の治療を受けました。）、
- 川村 一郎 先生（昭和45年4月～昭和57年3月）  
力してみます。

- 木下 潤司 先生（昭和42年4月～昭和59年3月）  
二月十三日の研究発表会ご盛会をお慶び申し上げます。皆様方（現役の教職員）（二回）の講述に頭が下がります。椎松会議室にはよく頭を出している方が、顔見知りの出席が少ないで、早めに退出しています。四月の予定が決まっていませんが、できただけ、頭を出させていただきたいと思います。
- 日高 敬道 先生（昭和42年4月～昭和56年3月）  
県教育大学で、週刊講義しています。

チの毎日。若い学生（現在は医療大勤務）から時代の変遷を受けながら学ぶことを実感しています。椎松会議室での発展を祈念いたします。



## 同窓会 平田 慶則

昭和38年卒業82期生の同窓会を、ホテルにて開催しました。辻本戊先生にもご出席頂き、総勢中でも酒井先生はご入院中のところ、車で来館の後にまた病院までお送りしました。辻本先生からは、久しぶりに「じゃかましい」と再確認した次第です。辻本先生は6年生時が多く、入りに盛り上がりました。平野より芸妓1名、舞妓3名を呼んで会を。舞妓さんは15歳～16歳と我々の孫のよう。企画の説明は上々でした。ている同級生全員に送り、次回の参加もお席の方も、皆さんまた元気で会いましょう。

昭和37年我々附小81期生81名は卒業いたしました。入学式で出会ってから、（校門をくぐって）50年を過ぎたのを記念して同期会を開催いたしました。

新年（平成19年）1月7日に、中野住吉君の御世話で道頓堀の「すたんど割烹日本」で、恩師辻本戊先生と21名の同期生が集い大変に盛り上がった会となりました。今回、特別企画で住吉大社の初詣と恩師、故齊藤敏彦先生追作絵画鑑賞会を開催いたしましたが、6名の参加がありよい思い出となりました。二次会のカラオケルームでの大騒ぎの後、次回三年後に無事に会場を迎えて集まることを約束し、担当幹事も決めて散会となりました。

## 出会い50周年の同期会 宮前 雅明



## 81期・昭和37年卒



# 同期会報告

# メモセイヨウを頂戴しました。

## 近況コメント

4月14日(土)の雑松会総会・懇親会に先立ち、恩師の先生方に事前案内をお送りし、多数の先生方よりお返事を頂きました。3月10日現在、ご出席予定の先生方は次のとあります。

白木實先生、酒井康晴先生、辻本戊先生、原晃一郎先生、日高敬造先生、木下清司先生、萩原武士先生、岩崎真季先生、藤永芳純先生、服部敬一先生、八木義仁先生。

又、近況報告を寄せて頂いた先生方のコメントを紹介いたします。

**坂元 健一 先生**(昭和56年4月～昭和60年3月)  
ときだま、電車の中で隣の子どもを見かけます。その律的姿になつかしさを感じています。

**私**、定年退職してはや四年。大阪市PTA協議会事務局に勤務しています。

**齊原 博正 先生**(昭和56年4月～平成9年3月)  
元気よく過ごしています。ご盛會をお祈りします。

**津川裕 先生**(昭和56年4月～平成10年3月)  
福岡教育大学に赴任して一年半になります。こちらの生活にも少し慣れてきました。雑松会の盛會のご活躍をお祈りいたします。

**山田 良輔 先生**(昭和56年4月～平成2年3月)  
平成十八年四月より生駒区の林寺小学校に勤務しています。新規で勤務した学校です。

**前田 昇 先生**(昭和57年4月～昭和63年3月)  
おかげで元気に暮しています。当日と前後は、甚屋川市史の執筆締切りを控えて寝不足の毎日でしょう。

**渡口 理子 先生**(昭和58年4月～平成10年3月)  
大阪市立林寺小学校勤務です。

**西川 秀智 先生**(昭和59年4月～平成6年3月)  
奥本市立高畠南小学校、雑松会のみなさまのご健康と多幸をお祈り申しあげます。

**三島 公徳 先生**(昭和59年4月～平成6年3月)  
御案内いただきありがとうございます。今のところ出席をお約束することができませんので、一応、欠席予定といたします。

**西守 玲子 先生**(昭和54年4月～昭和56年3月)  
子どもも大きくなり、保護者として学校や親のあり方を考へる毎日です。

**辻野 友二 先生**(昭和49年4月～昭和60年3月)  
退職して一年になります。元気には過ごしています。

**大西 純彦 先生**(昭和54年4月～昭和56年3月)  
市内にボツボツ過ごしております。皆様によろしくお伝え下さいませ。

**栗元 イチ子 先生**(昭和54年4月～昭和55年3月)  
市内にボツボツ過ごしております。皆様によろしくお伝え下さいませ。

**西守 玲子 先生**(昭和54年4月～昭和56年3月)  
子どもも大きくなり、保護者として学校や親のあり方を考へる毎日です。

**大西 純彦 先生**(昭和54年4月～昭和56年3月)  
市内にボツボツ過ごしております。マクロビオティックといつも平和と野菜の食事を提供していますが、「食」の大好きをしみじみ感じています。学校でも、食育を大切にして頂ければうれしいです。

**松井 真美子 先生**(昭和54年4月～昭和56年3月)  
相変わらず塾を経営しています。マクロビオティックといつも平和と野菜の食事を提供していますが、「食」の大好きをしみじみ感じています。学校でも、食育を大切にして頂ければうれしいです。

**大西 純彦 先生**(昭和55年4月～昭和56年3月)  
毎回懇親会のご案内ありがとうございます。十四日前後は学校行事のため出席できません。請充電の先生方によろしくお伝え下さい。

**大西 純彦 先生**(昭和55年4月～昭和56年3月)  
前六時には出勤のため家を出ています。冬の季節は

**八木 義仁 先生**(平成2年4月～)  
附属天王寺小学校で十七年目が終わってからいます。まだお世話になっています。近くに歩いた時は、お呼び致します。

**宮元 亨 先生**(平成3年4月～平成12年3月)  
豊中市立桜井谷小学校に勤務しています。音楽専科三年六ヶ月をしていました。

**川西 邦彦 先生**(旧姓答岡)  
(平成6年4月～平成14年3月)

**加納 啓司 先生**(平成6年4月～平成12年3月)  
部会がつかず席します。皆様のますますのご活躍をお祈りいたします。

**田中 健文 先生**(平成9年4月～平成16年3月)  
皆様、ご無沙汰しております。

**田中 健文 先生**(平成9年4月～平成16年3月)  
いつもお世話になり、またご案内いただきありがとうございます。

**木戸 実子 先生**(平成10年4月～)  
皆様、ご無沙汰しております。

**木戸 実子 先生**(平成10年4月～平成17年3月)  
ご案内ありがとうございます。当日は新学期の為、出席できませず心苦しく存じます。雑松会長康ははじめ皆様のご健闘とご活躍を心よりお祈り申し上げます。

**森本 啓一 先生**(昭和60年4月～平成6年3月)  
いつもお世話になります。日々、元気にしております。

**木戸 実子 先生**(平成10年4月～平成17年3月)  
ご案内ありがとうございます。当日は新学期の為、出席できませず心苦しく存じます。雑松会長康はじめ皆様のご健闘とご活躍を心よりお祈り申し上げます。



87期・昭和43年卒

さつをした後、授業参観を始めました。そして3時間目の音楽授業でカラオケの勉強を最後に下校いたしました。

ちなみに出席者の半数近くが恩師を含むシルバー世代となり、昔話を持ち出され、多少圧倒され気味になりましたが、それもまた楽しからなかった。

次回の87期生の同窓会にどうぞ明確下さい!



82期・昭和38年卒

## 趣向満載

平成18年9月30日(土)、我/ユーロータニ大阪 Taikan En にて開催されました。当日は、酒井康晴先生、宝室36名の娘やかな会となりました。お迎えに上がり、ご挨拶を預けが、出席者一同感激でした。「！」のひと言も聞け、お元気さの担任ではありませんが、ファ今回は趣向をこらして、京都単やかなものにしてもらいました。年齢でとてても可変らしく、( )後日、集合写真を住所が判明願いしました。今回出席の方も



# お元気ですか

近況報告 エ・ト・セ・ト・ラ



報告の中から掲載しています。年に一度の会報発行ですので、タイムリーに報告出来ないのが残念です。

がんばってます！

級友たち

人生の残務整理、なかなか決山やるべき事が残っています。結構忙しくしてあります。昭和4年卒  
近著「初衣（旧姓）壁山」  
子供四人、孫九人、ひ孫四人  
八十九才、元気です！

昭和8年卒  
立井 楠  
やつと春が来ました。  
なつかしい木遣音、広い校庭の闊い四つ葉のクローバー、夏の高瀬の浜の水泳。みんな思い出で一杯です。皆様も元気です。

昭和10年卒  
岩井 離子（旧姓）連水  
岩井、此の度六十三才を區切りの国（鹿児島）に移りました。

昭和14年卒  
南 司  
各般の連絡等、有難うございます。

昭和18年卒  
鶴本 雄博  
昭和十八年卒業の男女組、毎年春に同窓会を開催中です。幹事は川君の熱心な連絡により昨年は八才才官以上」の古武士者どもの「Last party」とともに次の会が持たれ、その会がいつもお世話頂き有難うございます。

昭和17年卒  
鈴木 享  
昨年（平成十七年）三月で勤務先を退職致しました。同書とては、島根大学教育学部の教員としています。

昭和13年卒  
牧田葉子  
平成十六年には、兵庫県国際文化交流使節としていました。

昭和20年卒  
野島 精一  
名古屋で大学生生活を過ごした様で、精神科医として横須賀で学生生活を送っていました。

昭和29年卒  
鷹尾 三紗子  
數子が下、I.Tでチザイナー大賞を受賞いたしました。

昭和23年卒  
関 淳一  
平成十七年十一月の市長選挙では、多くの方々から温かい激励をいただき、心から感謝いたしております。重責を負うります。

昭和47年卒  
芋田 寒代子（旧姓庄岡美保）  
十九年前に結婚して、二十五年前には改名いたしました。

昭和51年卒  
本田 忍  
やっと大阪に戻ってきました。

昭和57年卒  
石井 圭子（旧姓 関）  
長男が入学した頃は昔と変わらない校舎になつかりを感じましたが、年々改修されましたが、それがついになり、クリークが設置されたのが嬉しかったみたいです。

昭和55年卒  
中、現在の大坂教育大学に二十三人集い、昔話に

付属天王寺小学校に通じる園地開拓である大坂府富田林市橋北庭園

音寺で同じ金の飯を食べた仲だ。一九四七年、教

育大付属天王寺中学校に

第一期生として共に入學

人生の残務整理、なかなか決山やるべき事が残っています。結構忙しくしてあります。昭和17年卒  
加藤 晴巳（僕）  
昨年四月の離松会の時は元気に健康とお達しましたが、五月に癌の再発となり、八月手術、手術後今迄一人暮らせています。が、子供達が心配し今息子家族娘も近く越し半室で離松会までこじぐままでさせています。妻せにほどの國を訪問し、ほどの國を訪問し、演奏して歌いました。

大震災十周年の平成十七年よりは、高齢化社会に在り、イキイキ元気に年金を重ねるお手伝いをしてしまつた弟伴義が、い枝庭の闊い四つ葉のクローバー、夏の高瀬の浜の水泳。みんな思い出で一杯です。皆様も元気です。

昭和14年卒  
西田 光男  
敗戦後の混亂の中で、新しく教育をめざして奮斗された多くの先生方が教はれ、今も、私の胸の中にあります。思い出とは感覚が私に合はず、副作用について思い出して逝りますが、今の医学の進歩信じ半年の離松会は皆様に遙にまいります。同期の方達、柴谷さんはまだ元気で、このままにはお知らせしていません。

昭和22年卒  
戸川 瞳子  
六十、六十五才とかあまり年を過ぎた貧弱に閉じ、経営費としてまとめて支払型をとっていますが、ありがたいのですが…

昭和33年卒  
昭和49年卒  
秋田 光哉  
社会福祉法人光型会設立し、平成十八年六月より吹田市に認可保育所を開校いたしました。

昭和35年卒  
戸川 瞳子  
六十才、六十五才とかあまり年を過ぎた貧弱に閉じ、経営費としてまとめて支払型をとっていますが、ありがたいのですが…

昭和39年卒  
三谷 高康  
豊中から東京へ單身赴任。機械大学でチャップレン・教授として多忙な日々を送っています。

昭和49年卒  
異 咲子  
娘も附小六年生です。米年（平成十九年）から離松会に親子で参加します。

昭和50年卒  
異 咲子  
娘も附小六年生です。米年（平成十九年）から離松会に親子で参加します。

昭和51年卒  
平田 健  
すいぶん長い四年会費を未納しております。今まで未納分だけ連絡しておきます。重責を負うります。

昭和55年卒  
芋田 寒代子（旧姓庄岡美保）  
十九年前に結婚して、二十五年前には改名いたしました。

昭和57年卒  
孝君、この会の会長の千原薰君や大坂商船三井船舶（現・商船三井）元副社長の浜本敏恵君、この会の会話人である日本食品元社長の三木忠君たちがいる。

彼らとは戦争にあふれていた。先日も、同窓会に二十三人集い、昔話に破られるため、はだしもしばしば、貧しい時代だったが、先生方と父兄が一つになって新しい教育を始めていた。配給された運動靴はすぐりにした。當時は焼け残った先生の寄宿舎を校舎の代わりにした。小学生時代からの恩師、成田重明の設立に尽力され、中学先生を頼んでに移られた。私たちは卒業まで国語と習字を教わった。

三宅 正彦さん（昭和22年卒）  
・日本経済新聞 H18年3月22日付

がんばってます！ 級友 同窓生の活躍



